取扱説明書

yamada

屋外用.蛍光灯ガーデンライト
（防雨型.スパイク式）
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品名	適合ランプ	使用電圧
AF−2328	E17電球形蛍光ランプ　D10形Ｘ1灯	AC100V（±6%）
AF−2387		

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
⊘ このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

●　取り付け　取扱い上の注意

スパイク式
●スパイクは土壌のしっかりした所へ設置してください。
●砂地などの土壌の柔らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でスパイクの埋め込み部分を補強してください。
●G.Lまで埋め込んでしっかり固定してください。

⚠警告

❗ 傷んだコード（被覆の傷や芯線の露出など）はそのまま使用せず、ただちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

⊘ 一般屋外用器具(防雨型)です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯(塩害地域)では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないでください。
〇地中差し込み以外の場所　〇地盤の弱い場所　〇雨水等が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
〇浴室などの湿気の多い場所への使用。　〇サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⊘ 〇設置の際は垂直以外の向きに取付けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。また器具の転倒や破損、焼損の原因となります。

⊘ 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。

⊘ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⊘ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

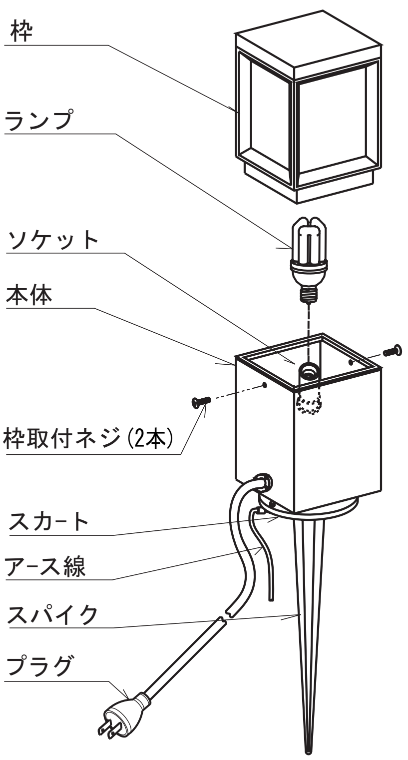
⊘ 温度の高くなるものの近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

⊘ ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

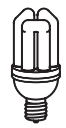
⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称 （説明図は、一部を簡略抽象化した図です。）

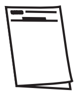
■ 器具構成図



■ 付属品



E17 電球形蛍光ランプ ― 1本



取扱説明書（本書） ― 1枚

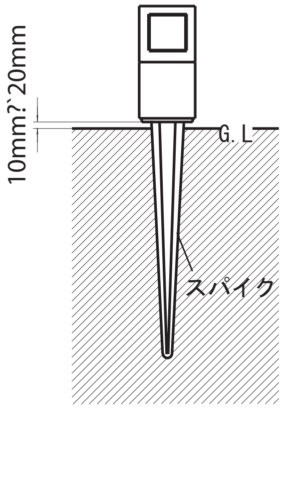
保証とアフターサービスについて ―― 1枚

取り付け場所の確認

⚠注意 ❗ 土壌のしっかりした所へ取付けてください。
砂利等の土質の柔らかい場所に埋め込む場合は、コンクリ-ト等で
スパイク部を固定してください。

★土質の柔らかい場所や不安定な所へ埋め込むと
器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

★G.Lとの隙間が約10mm～20mm程度になるまで埋め込んで
しっかり固定してください。
器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

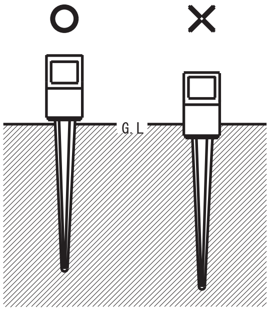


●取り付け方 ⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

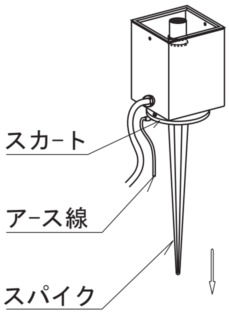
1、スパイクを取り付けます。 （図1）

スカ－トとG.Lとの隙間が約10mm～20mm程度まで
埋め込んでください。

＊必ずD種接地工事を施してください。
D種接地工事は、電気設備技術基準に従って確実に
行ってください。
★接地（ア－ス）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。



（図1）



⚠ 警告 ❗ しっかりと埋め込まれたかを確認してください。

★埋め込みが不十分な場合、器具の転倒による破損、焼損の原因となります。

❗ スカ－トより上まで埋め込まないでください。

★埋め込みすぎた場合、器具の機能を損ない、故障の原因となります。

2、ランプをセットします。 （図2）

ランプをソケットに合わせてねじ込みます。

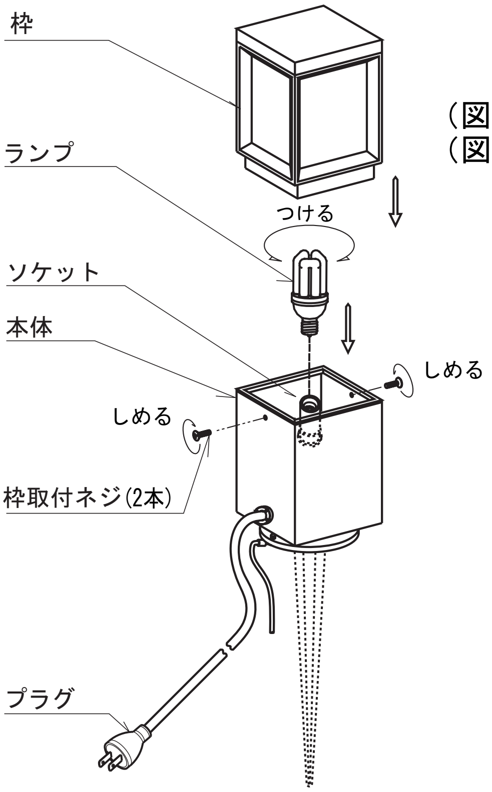
⚠ 注意
⃠ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

3、枠 をセットします。 （図3）

枠取付ねじ2本で締め付けて本体に取り付けます。

4、コンセントにプラグを差し込んでください。

（図2）
（図3）



● スイッチ操作

●プラグの抜き差しによってＯＮ－ＯＦＦ操作を行います。

⚠ 警告 ❗ プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

★コ－ドを引っ張るとコ－ドを傷めて、感電事故やショ－トによる火災の原因となります。

⚠ 警告 ❗ プラグは防水仕様になっていません。
軒下、屋内等のプラグに直接雨のかからないコンセントから
電源をとってください。

★感電事故の原因となります。

●プラグのコ－ドは人の通る場所では露出しない様にしてください。

★コ－ドを引っ掛け、ケガ、コ－ドの切断の原因となります。

●長時間使用しない場合や、メンテナンス時はコンセントを抜いてください。

● お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

● ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後のランプは熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。 ★火傷の原因となります。

● 濡れた手で触らないでください。 ★感電事故の原因となります。

● ランプは乱暴に扱わないでください。 ★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

● 適合ランプ以外のランプは使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。

● シンナ–やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ–などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■ランプの交換

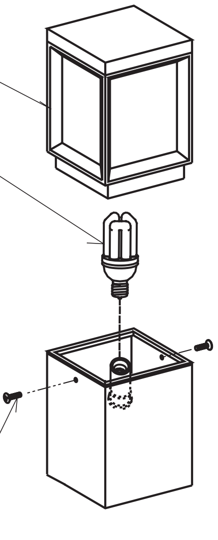
1、電源を切ります。

⚠ 注意 ランプ交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2、枠をはずします。
枠取付ねじ2本をゆるめて、枠を取り外します。

3、ランプを交換します。

⚠ 注意 ＊必ず適合ランプを御使用ください。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。
ランプは乱暴に扱わないでください。



4、枠を取り付けます。
取り付け方『3』を参照してください。

■ お手入れのしかたについて

- 電源を切ります。
- 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
- 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■ アフタ–サ–ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サ–ビス受付窓口にご相談ください。